

テーマ	(多摩16) 居住支援系事業所職員研修 ～ 希死念慮に寄り添う。障害理解と支援方法について ～
日時	令和8年12月7日(月曜日) 13時10分から15時30分まで
対象	・都内の居住支援系事業所職員 ・このテーマに興味のある精神保健福祉活動に従事する行政機関、相談機関、医療機関、教育機関、障害福祉サービス事業所、その他関係機関職員。 ※研修に関しての各種決定や案内は、LoGoフォームを通じて no-reply@logoform.jp で送りますので受信できる環境に設定してください。 ※研修の受講可否については、研修2週間前までに送付します。 ※「研修当日のご案内」「資料」を研修1週間前ごろに送付します。 ※Zoom視聴に必要な環境(パソコン、タブレット等の端末で画面を見ることができ、音声を聞くことができるインターネット環境)が必要です。
定員	オンライン(Zoom)研修 募集人数200名

プログラム

開催時間	講義名・講師	内 容
13時00分から 13時10分から	Zoom入室開始 研修案内	
13時15分 から 15時15分 まで (質疑応 答を含む)	～希死念慮に寄り添う。 障害理解と支援方法について～ 和光大学 現代人間学部 心理教育学科 教授 末木 新氏	グループホームでの支援は、利用者との心理的距離が近くなりやすい傾向があるため、生活上の相談と共に「希死念慮」の相談を受けることがあります。 自殺をほのめかす利用者は、時に「他の人には言わないで」と言う場合があり、共有方法やその後の対応に悩むことがあります。 この研修では、希死念慮の心理・メカニズム、支援者として必要な具体的な対応、寄り添い方などについて学びます。 さらに、自傷行為がある方を受け入れる際の、事前準備や安心・安全について、家族や関係者に対してできること、また、自傷行為などへの対応について学びます。
15時15分から	事務連絡、アンケート記入等	15時30分終了予定